

【別紙】

株式会社サンワ
ポジティブ・インパクト・ファイナンス
第一回モニタリング報告書

目次

1. 企業概要	1
2. KPI 進捗状況	2
3. 総評	3

1. 企業概要

企業名	株式会社 サンワ
代表者名	遠藤 宗司
本社	群馬県前橋市元総社町 521-7
創業	1946（昭和 21）年 2 月 11 日
資本金	30 百万円
従業員数	423 名（2025 年 6 月時点）
売上高	166 億円（2025 年 6 月期）
主な事業内容	石油製品の卸売販売、ガソリンスタンドの運営、自動車メンテナンス、太陽光発電システム等環境配慮型商品の販売、ガス・電気設備等工事、保険代理店、スイーツファクトリーの運営、ほか
国内拠点	営業所 5 カ所、ホームエネルギーショップ 7 店舗、サービスステーション（以下、SS）20 店舗、キーパープロショップ 6 店舗、車検センター3 カ所、配送センター3 カ所、社員研修館 1 カ所、保養所 1 カ所 ほか
主要取引先	アストモスエネルギー株式会社、出光興産株式会社、GN ホールディングス株式会社、住友三井オートサービス株式会社 ほか
関連会社	大泉石油株式会社、有限会社埼玉三和、株式会社ミワックス

2. KPI 進捗状況

項目	内容
インパクト	サンワ GX ビジョンに基づくカーボンニュートラルの実現
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 2030 年度までに Scope1、2 の温室効果ガス排出量を 2019 年度比 80%実質削減する ISO14001 の認証取得を継続する サンワオープンセミナー（LP ガスのクレジット活用によるカーボンオフセットや燃転事例等を紹介）を毎年 1 回開催継続する。
KPI 進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 2025 年 6 月期、温室効果ガス排出量（Scope1+2）を 38%削減 2025 年 10 月に ISO14001 の認証を更新 2025 年 3 月にサンワオープンセミナーを開催

項目	内容
インパクト	ワークライフバランスの充実による企業価値向上
KPI	<ul style="list-style-type: none"> 2030 年度までに有給休暇取得率を 75%以上とする 階層別研修を全社員に対して年 2 回以上実施する 群馬いきいき G カンパニーゴールド認証（育児・介護休業制度の利用促進や職場における女性の活躍促進、従業員の教育等ワークライフバランスの推進に先導的な取組みを進めている群馬県内事業者を認証する制度の最高ランク）の継続 2025 年度までに電気工事士 1 種、2 種資格を 15 人まで増加させる
KPI 進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 2025 年 6 月期年次有給休暇取得率は 71.2%（参考：直近 51%） 管理職向け研修を年 1 回、入社 1 年目・3 年目・5 年目向け研修を年 3 回実施 群馬いきいき G カンパニーゴールド認証更新 電気工事士 1 種、2 種資格者数 8 名（参考：直近 7 名）

項目	内容
インパクト	DX 化推進による顧客の安全性向上
KPI	2025 年度までに LPWA（無線技術を活用した集中監視システム）設置率を 50%以上とし、「第二号認定 LP ガス販売事業者」の認定を取得する
KPI 進捗状況	2025 年 6 月期時点で LPWA 設置率 49%

項目	内容
インパクト	事業活動を通じた地域レジリエンスへの貢献
KPI	中核充てん所（国が指定する大規模災害時に安定的な LP ガス供給を可能とする充てん所）、中核 SS（災害時に警察や消防等の緊急車両への優先給油を行う給油所）、住民拠点 SS（自家発電設備を備え、停電時にも継続して地域住民に給油可能なガソリンスタンド）を整備・維持するための従業員の防災訓練を各拠点で年 1 回以上開催する
KPI 進捗状況	防災訓練を実施済み 中核充てん所 2 カ所、中核 SS4 カ所、住民拠点 SS8 カ所あり

3. 総評

温室効果ガス排出量削減については、2030年度の目標に対して着実な進捗が見られます。ISO14001の認証更新やセミナー開催など、社外への情報発信・認証維持も計画通り進んでおり、全体的に順調な進捗状況です。今後は更なる削減施策の強化が期待されます。

有給休暇取得率や資格者数など、目標に向けて着実に改善が進んでいます。特に認証更新や研修実施頻度の増加など、働き方改革に積極的な姿勢が見受けられます。今後は取得率や資格者数の更なる伸長が課題ですが、全体として前向きな進展が確認できます。

DX化による安全性向上への取り組みが順調に進んでおり、LPWA設置率は目標値にほぼ到達しています。引き続き設置率向上と認定取得に向けた取り組みを継続することで、目標達成が期待されます。

地域防災力向上のための施設整備・訓練が計画的に実施されており、地域レジリエンスへの貢献が着実に進んでいます。今後も継続した訓練・設備維持が重要ですが、現時点で高い達成度が認められます。

全体的に各KPIは目標達成に向けて着実に推進されており、特に認証取得や社内外への発信、DX化、地域貢献など、多方面でPI（ポジティブインパクト）の拡大およびNI（ネガティブインパクト）の低減が確認できます。

以 上